矢ヶ崎氏が講演　内部被曝に警鐘

伊江で勉強会

【伊江】伊江村の財団法人わびあいの里（山内徳信理事長）は10日、物理学者で放射線内部被曝（ひばく）を研究している琉球大学名誉教授の矢ヶ崎克馬氏＝写真＝を招き、「内部被曝について」の勉強会を開いた。

矢ヶ崎名誉教授は、放射能で汚染された食べ物や水、空気を吸うなど体内に取り込まれた放射性物質による内部被曝と、体外から放射線を受ける外部被曝があり、「特に内部被曝は大変危険で恐ろしい」と警鐘を鳴らした。

平和資料館「ヌチドゥタカラの家」の謝花悦子館長は「今日の学びで恐怖を感じた」と話した。

（中川廣江通信員）

2014年5月17日 朝刊 地方1面（市町村）(地1) 1版 22頁

琉球新報